(一)砂原四方寄線 砂原工区【補助】

規 │ 道路−17

- すなはら よもぎ すなはら くまもとかんじょう
- ■(一)砂原四方寄線砂原工区は、熊本環状道路の一部を構成し、市街地の交通混雑解消及び物流の効率化に寄与する道路。
- (一)砂原四方寄線砂原工区の整備により、熊本市中心部の慢性的な交通混雑を緩和するとともに、熊本港などの広域交通拠点への所要時間が短縮することで、物流の効率化や地域産業の活性化に期待。

《位置図》

《平面図》

凡例



《諸元等》

事 業 区 間:熊本県熊本市南区砂原町

事業主体:熊本市

延 長:3.8km 全体事業費:340億円

|R 4 当 初 : 1.3億円(事業費)

凡

《整備効果1》慢性的な交通混雑緩和

熊本市中心部の慢性的な交通混雑の緩和を図ることが可能





▲写真① 国道 5 7 号保田窪交差点付近



《整備効果2》アクセス性向上による物流の効率化

渋滞筒所を回避でき、速達性や定時性が確保され、物流の安定輸送が可能



国道3号 植木バイパス・熊本北バイパス【直轄】

継続

全線開通

道路-18

- ■国道3号植木バイパス・熊本北バイパスは、熊本都市圏の環状道路網の一部となり熊本市の交通混雑の緩和及び交通 安全性の向上等を目的とする道路。
- ■植木バイパス・熊本北バイパスの整備により、熊本都市圏内の放射道路網の一部となり、サプライチェーンの強靭化や物流の生産性向上、地域間の交流・連携機能の確保に期待。

《位置図》

《諸元等》



【植木バイパス】

事業区間 : 熊本県熊本市北区植木町鞍掛 ~ 熊本市北区四方寄町

延 長:5.6km 全体事業費:308億円

R 4当 初:9.8億円(事業費)

【熊本北バイパス】

事業区間 : 熊本県熊本市北区四方寄町

~熊本市東区新南部4丁目

延 長:7.6km 全体事業費:814億円

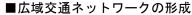
R 4当 初: 2. 3億円(事業費)

(うち熊本県0.1億円、熊本市2.2億円)

《路線位置図》



《整備効果》





▲ 熊本都市圏の環状道路網



▲植木バイパス並行現道の 渋滞状況



▲熊本北バイパス事業中区間の 渋滞状況

■地域産業の生産性向上を支援



▲ 自動車関連部品製造のサプライヤーの効率化

■交通混雑の緩和



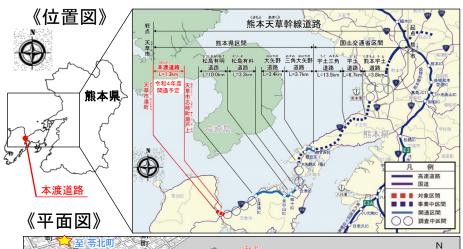
※旅行速度対象区間:国道3号植木バイパス並行現道・ 熊本北バイパス事業中区間

資料:現況H31(ETC2.0プローブデータH31.4~R2.3:平日混淆 完成後(将來亦涌畫推計結果)

▲ 旅行速度の変化

国道324号 本渡道路【補助】

- ■国道324号本渡道路は、熊本県熊本市と熊本県天草市を結ぶ熊本天草幹線道路の一部を構成し、天草地域と 熊本都市圏間の「90分構想」の実現に寄与する道路。
- ■本渡道路の整備により、天草上島と下島を唯一結ぶ天草瀬戸大橋前後区間の朝夕の慢性的な交通混雑を緩和すると ともに、事故・災害時のダブルネットワークの確保、救急医療施設へのアクセス性向上による地域医療活動等の支援 に期待。



延長1.3km(2/2) 至上天草 ダブルネットワーク化

《諸元等》

:熊本県天草市港町 事業区間

~天草市志柿町瀬戸上

1. 3 k m 203億円

《整備効果》

本渡道路の整備により交通渋滞の緩和と、ダブルネットワークを確保

・天草市から第3次救急医療機関までの時間を短縮

全体事業費 :

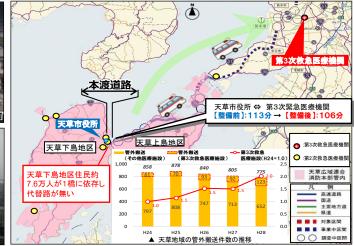
36. 0億円(事業費)





《現地状況写真》





- ■九州横断自動車道延岡線(九州中央自動車道)は、熊本県上益城郡御船町を起点とし宮崎県延岡市に至る延長約95kmの高速自動車国道であり、九州における循環型高速ネットワークを形成し、九州全体の産業、経済、文化の発展に資する道路。
- ■九州横断自動車道延岡線 嘉島JCT〜矢部の整備により、災害時においても速やかに緊急車両や一般車両の通行を確保し、災害時の代替路の確保に期待。

(位置図) 《諸元等》 事業区間:熊本県上益城郡嘉島町 ~ 上益城郡山都町 延長: 23.0km 全体事業費: 1,094億円 R4当初: 49.8億円(事業費)

《整備効果》

- 〇並行する国道445号では災害等により、過去10年間で13回の全面通行止めが発生。 平成28年に発生した熊本地震では、国道218号と国道445号の同時通行止めが発生。
- 〇災害時における山都町一熊本市間の信頼性の高い道路ネットワークの機能強化を推進。



- ■幹線道路における安全・安心な道路交通環境の創出を目的に事業を推進。
- ■当該箇所の交通安全対策により、歩行者が安全・安心に通行できる歩行空間の確保、死傷事故件数の減少が期待。

〇国道3号 岩城歩道整備

《位置図》



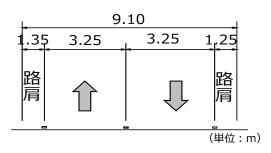
《諸元等》

事業区間:熊本県葦北郡津奈木町岩城

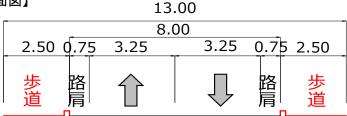
延 長: 0. 3 km

R 4 当初: 0. 5億円(事業費)

【現況断面図】



【計画断面図】



____ (単位 : m)

《平面図》

《現地状況》



※令和3年11月8日に地元小学校、県警、自治体、道路管理者で合同点検実施。 直轄においては、歩道整備、地元においては、通学・帰宅時に見守り対策を実施。



写真③: R2.1 法面崩壊

国道212号 三光本耶馬渓道路【直轄】

- ■国道212号三光本耶馬渓道路は、大分自動車道と東九州自動車道及び重要港湾中津港とを相互に連絡する高規格道路 中津日田道路の一部を構成し、物流の効率化及び災害に強いネットワークの構築を目的とする道路。 さんこうほんやばけい
- ■三光本耶馬渓道路の整備により、災害時においても速やかに緊急車両や一般車両の通行を確保し、災害時の代替路の 確保に期待。



《諸元等》

事業区間:大分県中津市三光西森

~中津市本耶馬渓落合

長:12.8km 全体事業費: 576億円

R 4 当 初:90.7億円(事業費)

《路線位置図》



《整備効果》

写真①: R2.4 落石



写真②: H29.7 冠水

道路-23

- ■幹線道路における安全・安心な道路交通環境の創出を目的に事業を推進。
- ■当該箇所の交通安全対策により、自転車や歩行者等の安全・安心で、快適な通行空間の確保が図れるとともに、 重傷事故件数の減少が期待。

〇国道10号 西大分自転車通行空間整備



《諸元等》

事業区間:大分県別府市山家

~大分市生石

延 長:7.2km

R4当初: O. 3億円(事業費)

【現況断面図】



【計画断面図】



《平面図》



《現地状況》



- ■無電柱化は、防災、安全かつ円滑な交通の確保、良好な景観の形成等を図ることを目的として事業を推進。
- ■当該箇所の無電柱化を図ることで、災害時における緊急輸送道路の確保並びに安全で快適な通行空間の確保を図るとともに、良好な都市景観の形成に向けたまちづくりを支援。

〇国道10号 鴛野地区電線共同溝

《位置図》

《諸元等》

事業区間:大分県大分市鴛野

~大分市鴛野

延 長: 2.1km(両側)

全体事業費 : 13億円

R 4 当 初 : 3.3 億円(事業費)

○整備の必要性

○道路上の電柱は、災害時の倒壊により道路を閉塞させるおそれが 有るほか、歩行者等の通行や良好な都市景観の形成の妨げとなる





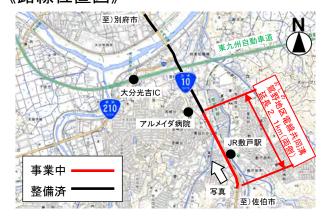


<電柱の倒壊による道路閉塞の事例>

<飛来物による電柱倒壊の事例>

<歩行の支障となる電柱の事例:

《路線位置図》



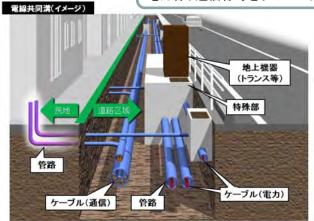
《現地状況》



※工事着手前

○電線共同溝とは

道路の地下空間を活用して、 電力線、通信線等をまとめて収容



- ■国道503号飯干バイパスは、現在整備中の「五ヶ瀬高千穂道路」(仮)五ヶ瀬東ICへのアクセス道路として、 交通の円滑化等に資する道路。
- ■五ヶ瀬高千穂道路との一体的な整備により、災害時における代替路を確保するとともに、地域産業の活性化や 救急医療施設へのアクセス性向上による地域医療活動等の支援に期待。

《位置図》

宮崎県 飯干バイパス

《諸元等》

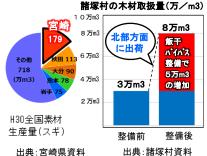
事業区間:宮崎県西臼杵郡五ヶ瀬町大字三ヶ所

~東臼杵郡諸塚村大字七ツ山

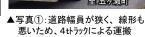
長:5.0km 全体事業費:148億円

R 4 当 初 : O. 4億円(事業費)

《整備効果1》地域産業(林業)の振興を支援



出典:宮崎県資料



至 諸塚村



▲連結トレーラー(20t) による 大量輸送が可能

《路線位置図》



《整備効果2》

▲写真②:除雪状況



▲写真③:落石状況



- ■東九州自動車道 清武JCT〜北郷は、九州における循環型高速道路ネットワークの一部を形成し、九州東部の広域的な連携を図り、物流の効率化及び地域の発展、災害に強いネットワークの構築等を目的とする道路。
- ■東九州自動車道 清武JCT〜北郷の整備により、異常気象時の事前通行規制や災害時の通行止めにおける代替機能の 確保等や救援・物資輸送機能を果たす災害に強いネットワークの構築等に期待。

の設定について(資料:宮崎県(H25,2,19)

《位置図》 東九州自動車道 (清武JCT~北郷) 宮崎県

《路線位置図》

《諸元等》

事業区間:宮崎県宮崎市清武町今泉

~日南市北郷町郷之原

延 長: 19.0km 全体事業費: 1,622億円

R 4 当 初: 61.5億円(事業費)

▼災害時における輸送ルート



《整備効果》

▼国道220号の規制発生状況

規制理由	規制回数	備考
災害による通行規制(全面通行止め)	15回	崩土崩壊、落石等
事前通行規制(全面通行止め)	54回	連続雨量170mm以上
合計	69回	年平均 約5回/年

※通行規制はH19~R3.12の15年間 の実績(資料:宮崎河川国道事務所)



にちなん たかおか ▼ (主) 日南喜岡線の担制発生状況

ı	▼ (工/ 口用同間像♡洗巾光工状光			
	規制理由	規制回数	備考	
	災害による通行規制(全面通行止め)	14回	崩土、落石等	

※通行規制はH17~R3.12の17年間の実績 (資料:宮崎県)



- ■国道10号都城道路(Ⅱ期)は、高規格道路都城志布志道路の一部を構成し、九州縦貫自動車道宮崎線との結節による物流の効率化を図るとともに、市街地の交通混雑解消及び沿道環境改善を目的とする道路。
- ■都城道路 (Ⅱ期) の整備により、災害時においても速やかに緊急車両や一般車両の通行を確保し、災害時の代替路を確保 するとともに、救急医療施設へのアクセス性向上による地域医療活動等の支援に期待。



《整備効果》





○本路線の整備により、高次医療施設への搬送時間短縮(約27分⇒約12分)が図られるとともに、搬送時の揺れや振動も抑えられ、患者の安静な搬送が期待される。



▲『都城市郡医師会病院』 (H27.4月移転)

都城志布志道路の開涌に伴い 周辺地域からの来院者数が増加傾向 3,621 3,545 4,000 3,000 2,964 2,613 3,000 2,000 3,491 2,881 2.867 2,565 1,000 H28 H29 ■曽於市・志布志市 資料:都城市提供資料

国道226号 喜入防災【直轄】

- ■国道226号喜入防災は、防災上危険な箇所を回避し、災害に強い道路ネットワークの確保を目的とする道路。
- ■喜入防災の整備により、土砂災害等による通行規制を回避することで、産業や物流活動、通勤・通学等における地域 の安全・安心を確保する信頼性の高い道路ネットワークを構築。

《位置図》



《諸元等》

事業区間:鹿児島県鹿児島市喜入中名町

~鹿児島市喜入瀬々串町

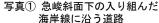
延 長:2.2 k m

全体事業費:170億円

R 4 当 初 : O. 5 億円 (事業費)

《当該区間の課題と効果》







写真② 斜面の不安定な岩盤



写真③ 斜面の崩壊 (H20.6)

《路線位置図》





- ■国道3号阿久根川内道路は、南九州西回り自動車道の一部を構成し、九州南西部の地域経済の活性化及び高速定時制 性の確保を目的とする道路。
- ■阿久根川内道路の整備により、災害時においても速やかに緊急車両や一般車両の通行を確保し、災害時の代替路を確 保するとともに、周辺地域への企業立地及び雇用促進に期待。

≪位置図≫



≪諸元等≫

事業区間:

鹿児島県阿久根市鶴川内 さつま せんだい みずひきちょう

~薩摩川内市水引町

22. 4 km 長: 延

全体事業費:1.050億円

R 4 当 初: 26.0億円

(事業費)

≪路線位置図≫



≪整備効果≫

■災害時の避難路、緊急輸送道路を確保





▲ 法面崩壊状況

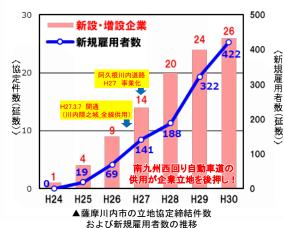
▲ 大雨による冠水状況

▲大雪による混雑状況

■周辺地域の企業立地による雇用促進が期待



▲薩摩川内市の企業立地状況 (H24~H30)



- 新規
- 道路-30

- ■幹線道路における安全・安心な道路交通環境の創出を目的に事業を推進。
- ■当該箇所の交通安全対策により、歩行者が安全・安心に通行できる歩行空間の確保、死傷事故件数の減少が期待。

〇国道220号 野井倉歩道整備

《位置図》

康児島県 事業箇所

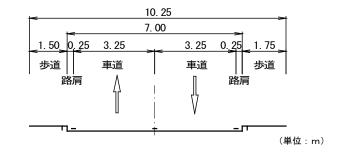
《諸元等》

事業区間:鹿児島県志布志市有明町野井倉

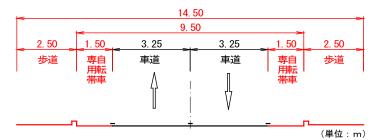
延 長:1.0km

R 4 当初: 0. 1億円(事業費)

【現況断面図】



【計画断面図】



《平面図》



《現地状況》

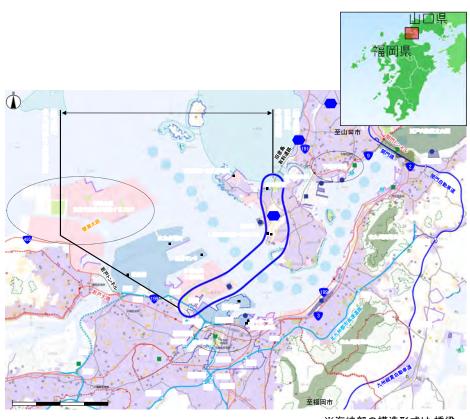




※令和3年8月27日に地元小学校、県警、自治体、道路管理者で合同点検実施。

- ■下関北九州道路は、下関市、北九州市の都心部を結び、循環型ネットワーク形成により、くらし、産業・物流、観光、 渋滞緩和など地域の一体的発展に寄与するとともに、本州と九州の広域的な人流・物流及び経済活動の活性化を支え る大動脈、災害時の代替路としての機能・役割を担う道路。
- ■令和4年度は、引き続き、山口県及び福岡県等の関係自治体と協力しつつ、都市計画・環境アセスメントを進めるた めの調査を推進。

《位置図》



※海峡部の構造形式は 橋梁

《当該地域の課題》

- ■令和3年8月の豪雨時には、関門橋が通行止めとなり関門トンネルに交通が集中し、 周辺部が渋滞。
- ■関門トンネル・関門橋を利用する交通需要の約8割が広域交通(地域内外・通過交通) であり、通行止めにより約7万台/日に影響する可能性があり、地域のみならず広域交通 にとっても課題。

〇令和3年8月の豪雨時の影響



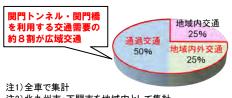
口北九州市方面へ向かう車両で長蛇の列

ETC2.0プローブ(R3.8.14(土)16:00~17:00)

写真:国道2号下関市勝山付近

〇通行止めによる本州-九州間の 広域物流への影響

□関門トンネル・関門橋を利用する交通需要



注2)北九州市・下関市を地域内として集計

資料:全国道路·街路交通情勢調査 自動車起終点調查(H27)

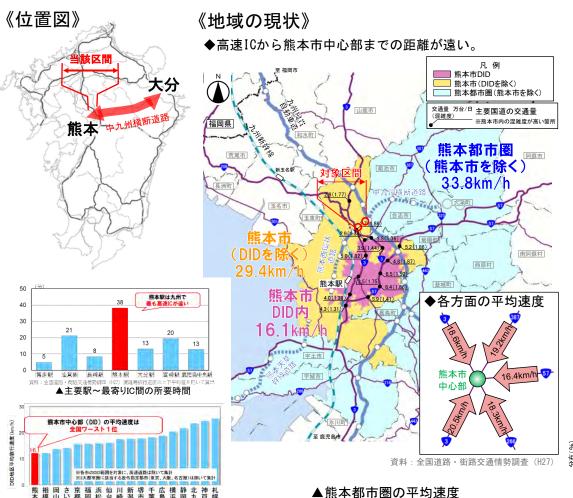
口通行止めの影響が全国に影響



資料:全国道路·街路交通情勢調査 自動車起終点調查(H27)

中九州横断道路 熊本北~下硯川(熊本環状連絡道路)

- ■中九州横断道路 熊本北~下硯川は、大分県大分市と熊本県熊本市を結ぶ中九州横断道路の一部区間として計画され、 主要拠点への速達性・定時性を高め、高速交通ネットワークを形成する目的として検討を進めていく道路。
- ■令和4年度より、概略ルート・構造等の検討(計画段階評価)に着手。



▲全国政令指定都市の平均速度(DID内)

◆二輪車関連企業の出荷ルートとして、国道57号を利用。



熊本県ポートセミナー(H30.7)

- ・大津町の大手製造業者が熊本港で輸出入を始めたこともあり、国際コンテナの 取り扱い量が近年増加
- ・産業の活性化を図るには港湾の利便性向上と連携強化を図ることが重要。

